

全国BDF協議会 講演会

富士興産・恩田氏 姫路製造所の強み紹介

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会が14日に東京都内で開催した講演会で、富士興産（富士ユナイトホルディングスグループ）の恩田靖執行役員グリーン事業部長兼バイオ燃料部長が登壇した。バイオ燃料の普及に向けた課題について制度対応、安定供給、品質保証の3点を提示。同社の課題解決への取り組みとして、2025年11月に開所した姫路製造所（兵庫県姫路市）を紹介した。

「富士興産の目指す環境対応型エネルギーの普及促進」をテーマに論じた。普及への課題に論じた。普及への課題に論じた。

講演する富士興産の
恩田靖執行役員



バイオ普及へ制度対応 安定供給・品質保証充実

ひいては普及につながる」と述べた。姫路製造所の強みに

ついては、国内初の「濃度・比率可変型高性能ラインプレnder」を

備、需要家の理解がそ

良かった」と語った。また講演会に先立ち開催された総会では、富士興産が同協議会による2026年度の表彰を受賞した。バイオ

料調達や供給体制の構築、品質面では軽油・重油との適正な混和と品質の均一化などを挙げた。

恩田氏は「バイオ燃料を製造・混和するだけでは普及しない。制度対応、安定供給、品質保証の三つを同時に

「」を開発・採用しており、品質法で定める軽油の強制規格が現行のFAME（脂肪酸メチルエステル）5%以下（B5）から7%以

品質・供給の信頼性を支えるとした。恩田氏は「バイオ燃料の普及は製造者・販売者だけではできない。制度や流通の整

紙の取材に「姫路製造所は制度変更や需要拡大に対応できる設備をもつ。製造・販売者や使用者、行政に製造所の機能をお伝えできて

は受賞のあいさつで「製造に携わって3年ほどになるが、今後とも安定操業に努め、業界の発展に貢献していきたい」と述べた。

た。恩田氏はバイオディーゼル燃料の供給基盤確立や協議会活動への積極的な参画などが評価された。